

2026-2027

■本日のロータリーソング

奉仕の理想

WEEKLY BULLETIN

7月9日(木) 第2号

第3165回 例会

札幌東ロータリークラブ TODAY'S PROGRAM

就任挨拶(2) 幹事、S A A、各委員長



就任挨拶(1) 会長、副会長

出倉恵隆 会長

2026-2027年度、札幌東ロータリークラブ第68代会長の出倉恵隆と申します。

さて、今年度の国際ロータリー会長のオンラインカ・ハキーム・ババロラ氏のメッセージは「持続可能なインパクトを生み出そう」です。そのメッセージを受けRI2510地区の古野重幸ガバナーからのメッセージは「Discovery your joy in Rotary」私たちメンバー1人ひとりがロータリーに参加する喜びを見出そうという呼びかけです。このことを踏まえまして、今年度の東クラブは3つの運営方針と3つの活動計画を立てました。3つの運営方針は「寛容」、「貢献」、「青少年」、活動計画は1. 現実に即したクラブ運営(優しくて寛大なクラブ運営) 2. 無形の価値(地域に貢献する奉仕活動) 3. インターアクトクラブと共に(若い世代とのつながり)です。

活動計画1. の現実に即したクラブ運営(優しくて寛大なクラブ運営)は東クラブの歴史の重みと時代の流れ、前進か衰退か、今、岐路に立っております。会員数の減少傾向が続く中、知恵と工夫でカバーをしてまいりたいと覚悟を決めておりますが、進化は伝統を守るものと考え、この際、活動のための活動はいたしません。他クラブと東クラブを比べるようなこともいたしません。しかし、「中止」や「削減」ばかりでは楽しくありません。ロータリアンにとって優しい時間、温かく迎え入れる場所を第一に考えて参ります。また、楽しい時

間、楽しい活動は自ずと定着していきます。幸せとは感じるもの、心に残る奉仕活動は続けてまいります。

活動計画2. 無形の価値(地域に貢献する奉仕活動)無形の価値とはロータリアン1人ひとりが持つ目には見えない力のことを指します。奉仕活動への参加やロータリー財団、米山への寄付行為はもとより、今年度、久しぶりに交換留学生の派遣、受け入れを予定しております。ロータリー青少年交換事業は1929年頃、ヨーロッパで始まりました。自国の高校生を海外へ派遣、その交換に海外から高校生を受け入れるプログラムです。学生は1年間ロータリークラブ会員の家にホームステイし、その国の高校に進学します。東クラブでは、1968年頃からこの事業に取り組み、これまで100名を超える学生のお世話をしてきました。東クラブの良き伝統の一つにホストファミリーを体験した者同士の深い友情があります。学生を家庭に受け入れることにより、日常生活の幅と深さを体験し、心身柔軟な心で新たな国際交流、国際理解をしてまいりましょう。

活動計画3. はインターアクトクラブと共に(若い世代とのつながり)です。提唱より50有余年、北海高等学校インターアクトクラブは「国際的な視野を持って活動する」を念頭に、世界で起きている問題に目を向けながら、自分たちの身近にできる活動を学んでおります。ロータリアンもインターアクターと共に国際理解と親睦の和を広げ、地

持続可能なインパクトを生み出そう

2026-2027 年度 国際ロータリー会長のメッセージ

国際ロータリー会長:オンラインカ・ハキーム・ババロラ

THE ROTARY CLUB OF SAPPORO-EAST WEEKLY BULLETIN

第2510地区

Rotary

札幌東ロータリークラブ



域社会における存在感を高め、社会貢献、地域社会へ感謝を示す恩返しの中場を作り出したいと考えております。

そして、東クラブの根幹を支える運営方針と、活動計画には5つの行動目標を立てました。「健全」、「公平」、「知る」、「学ぶ」、「実践」を心に留めて、クラブ運営に努めて参ります。昨今の日本人の感情はSNS依存により、過剰反応、不寛容さが目立つようになりました。ロータリー活動を取り巻く環境においても、ロータリーの魅力を問われる場面が多くなり、今こそ先輩会員が育んできた友情、自主性を尊重し、寛大で寛容な心で行動し、東クラブ創立70周年に向け、知恵と工夫で東クラブの地力を見せる年度にしたいと考えております。

高山和宏 副会長・クラブ奉仕委員長



今年度、副会長・クラブ奉仕委員長をつとめます高山です。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

クラブ奉仕は、クラブ定款によると、五大奉仕部門の第一部門であり、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである、とあります。また、クラブ細則には、クラブ奉仕委員会の特定分野を担当する次の11の委員会を設置するとあります。

出席委員会、職業分類委員会、クラブ会報委員会、親睦活動委員会、雑誌委員会、会員選考委員会、会員増強委員会、プログラム委員会、広報委員会、ロータリー情報委員会、音楽委員会の11委員会です。

この11委員会は、まず例会運営に関わる委員会、そして新会員を迎え入れるための委員会、そしてロータリアンの義務であるロータリーの友の購読を担当する雑誌委員会というように、ロータリー活動の原点を支え、クラブの管理運営を担う委員会と言えます。

先程、クラブ定款や細則をご紹介しましたが、ぜひ新しい年度が始まるこのタイミングで定款や細則をご覧ください、ご自分が所属する委員会の役割を委員会内で再認識していただくとともに、ロータリーを知る機会にしていいただければ幸いです。

次に例会出席についてですが、例会に出席することで得られるものはたくさんあります。

もちろん例会の食事や卓話も大事ですが、私にとって、ロータリーの奉仕の理念でつながった、年齢や職業も違う会員との出会いは多くの気づきや刺激、学びにつながり、かけがえのないものとなっております。

昔は例会を欠席すると先輩からすぐに連絡があり、ちゃんと出席するように指導があり、怖かったとか、そういったことが当たり前だったので、例会出席に対する意識が高かったとか、その影響かもしれませんが、もっと例会に緊張感があったとか、それに比べて今の例会は・・・とお話を聞くことがあります。

残念ながら、ここ数年、会員数も減り、これまでクラブを引っ張ってこられた先輩会員が亡くなれたり、病気で退会されたりと、クラブの構成メンバーも変化しました。一方で入会歴の浅い会員はそういった過去のクラブの運営がどうであったか、例会の雰囲気を含め当然ながら知りません。

そういったクラブの歴史と伝統をどうつなげていくか、とても重要なことですが、難しいことでもあります。

会員卓話やF. S. Mなどで、先輩会員から昔のクラブの在り様を知る機会をつくりたいと思います。



メイクアップのルールも変わり、確かに例会出席に対する意識は変わったかもしれません。出席したくても仕事でどうしても欠席せざるを得ないこともあるでしょう。しかし、例会に出席することはロータリアンとしての義務であり、会員同士が親睦を深め、自分を成長させてくれる存在であることは間違いありません。会員みなさん、可能な限り、例会に出席して笑顔で挨拶をかわしましょう。

今年度は、歴史と伝統ある我がクラブの運営がマンネリ化しないように、クラブの最大の課題である会員増強や、例会出席率の向上、さらなる活性化を目指して、11委員会の連絡調整役として、クラブ運営に全力で向き合っています。

特にお互いわかっているつもりで、行き違いや無駄なことが起きないように、コミュニケーションを緊密に図るよう心掛けたいと思います。

本年度は、来年1月から例会場が変更となる歴史的な年度となります。

出倉会長が考える運営方針と活動計画を理解し、クラブ運営をしっかりと支えられるように1年間役割を果たしたいと思いますので、会員皆さまのご協力をお願いいたします。

古瀬康紘 副会長・職業奉仕委員長



本年度、副会長・職業奉仕委員長を務めさせていただきます古瀬です。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

本日は就任のご挨拶として、少し私自身のロータリー歴を振り返りながらお話ししたいと思います。

ます。

私は2013年3月に入会いたしました。当時32歳で、当時の圧倒的な最年少会員でした。入会時の自己紹介で年齢を申し上げた際、会場が少しどよめいたことを今でも覚えております。

その後、福見幹事が入会されましたので最年少ではなくなりましたが、現在でも私より年下の会員は2人しかおりません。同級生も1人だけです。毎回のようにテーブルマスターになっていたので、そろそろ私より若い世代の方がたくさん入会してくればなあと思っております。

さて、早いもので今年で入会から14年目になり、その間、社会奉仕委員長や青少年奉仕委員長をはじめ、プログラム委員長、クラブ会報委員長、雑誌委員長、ロータリー財団委員長など、様々な役職を経験させていただきました。

その中でも、特に印象に残っているのは社会奉仕委員長と青少年奉仕委員長です。

山口会長年度の社会奉仕委員長の時には、創立60周年記念事業として、ろう者との交流フットサル教室や全国ユニバーサルカーリング大会を実施いたしました。障がいの有無に関係なく、多くの方々がスポーツを通じて交流する姿を見て、ロータリーの奉仕活動が人と人をつなぐ力を持っていることを改めて実感しました。

また、和田会長年度の青少年奉仕委員長の時には、北海高等学校が担当校となったインターアクト年次大会の運営に携わりました。大会は、皆様のご協力のおかげで無事に成功させることができましたが、私が特に印象に残っているのは北海高等学校の生徒達の姿です。インターアクトクラブの部長が大会で行ったスピーチは大変立派なものでした。高校生とは思えないほどしっかりした内容で、正直なところ、自分が高校生の頃には、あれだけ大勢の前であのようなスピーチはできなかっただろうなと思いました。また、部長だけではなく、他の生徒達も受付や会場案内、運営補助

などに主体的に取り組んでいました。誰かに言われて動くのではなく、自分たちで考えながら行動している姿がとても印象的でした。その姿を見て、若い世代の力と可能性を強く感じましたし、青少年奉仕の意義を改めて実感する機会となりました。

また、川幡会長年度の雑誌委員長の時には、当クラブの活動を積極的に「ロータリーの友」に投稿し、ユニバーサルカーリング大会や月寒川にぎわい川まつり、さらには60周年記念事業に関する記事を掲載していただきました。クラブの活動を対外的に発信することの重要性を学んだ一年でもありました。

さらに、高橋会長年度のプログラム委員長の時には会員卓話を数多く企画いたしました。卓話を通じて、普段はよく知っているつमりの会員についても、「こんな事業をしていたのか」「こんな社会貢献活動をしていたのか」と新たな発見が数多くありました。職業奉仕の原点は、お互いの職業を知り、理解し、尊重することにあるのではないかと感じています。

さて、本年度の出倉会長の方針は、「寛容」「貢献」「青少年」です。振り返ってみますと、私自身も、これまでのロータリー活動を通じて、まさにこの三つの大切さを学ばせていただいたように思います。

職業奉仕委員会としては、特に、この「寛容」という言葉を大切にしたいと思っています。ロータリーには様々な職業の方がおられます。互いの仕

事や価値観を理解し尊重することは、職業奉仕の出発点でもあります。

そして、それぞれが自らの職業を通じて社会に貢献していることを再認識することが、「貢献」にもつながるのではないかと思います。

私の担当としましては、本年度は11月12日に職場訪問を予定しております。

今回は大倉山ジャンプ競技場を訪問し、オリンピックミュージアムの見学や、可能であれば、リレハンメルオリンピックのノルディック複合競技で金メダルを獲得された阿部雅司(あべまさし)名誉館長のお話を伺う予定です。普段とは少し趣向を変えた企画ですが、会員相互の交流を深めながら学びのある機会にしたいと考えております。ぜひ多くの皆様にご参加いただければ幸いです。

副会長としては出倉会長を支え、職業奉仕委員長としては、会員の皆様が互いの職業を知り、学び合い、そして楽しみながら参加できる活動を進めてまいりたいと思います。

一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

米山奨学生
レクアンズウイさん



ゴルフ同好会 第3回例会
優勝者 深澤義人会員

市内他クラブのプログラム 7月10日～7月16日

10日(金) 札幌南「五大奉仕委員長就任挨拶」
10日(金) 札幌ライラック *毎月第1週と第3週の開催
11日(土) 札幌手稲休会(定款第7条第1節) ※受付なし
13日(月) 札幌南「委員会活動方針」
13日(月) 札幌北「第1回クラブ協議会」
14日(火) 札幌西「ペーパードライバー、アメリカを横断する」
データ分析家 松本亜也氏
14日(火) 札幌はまなす未定
14日(火) 札幌清田(移動例会)「就任挨拶」 ※受付なし
*原則として第2週と第4週の開催

14日(火) 札幌大通公園 *毎月第1週と第3週の開催
15日(水) 札幌モーニング「新会員卓話」
15日(水) 札幌「北海道遺産の現在地～四半世紀の潮流から伝統へ～」
北海道遺産協議会会長 小玉俊宏氏
15日(水) 札幌真駒内「ゲスト卓話」
米山学友 グエン・リン・チャンさん
15日(水) 新札幌休会(定款第7条第1節) ※受付なし
*原則として毎週水曜日の開催
16日(木) 札幌西北「国際大会卓話」
※7月6日現在の情報です。今後、変更になる可能性もございます。